

イノシシ等の有害鳥獣捕獲が実施されました



農作物の被害防止対策として、8月23日から9月30日まで有害鳥獣捕獲隊（河西敏夫隊長）48人により、市内全域にわたり有害鳥獣捕獲を実施しました。市では、被害の特に多い春と秋の年2回実施しています。

捕獲結果は下記のとおりです。

地域	イノシシ	ハクビシン	カラス	カルガモ
大 宮	7	3	0	0
山 方	7	0	1	0
美 和	0	0	1	2
緒 川	3	2	5	1
御前山	15	2	2	1
合 計	32	7	9	4

すぐ対応課開設 1 年

平成20年10月1日にすぐ対応課が設置されてから1年がたちました。



内 容	処理件数
市 道 の 補 修	1,227
蜂 の 巣 の 駆 除	467
動 物 死 体 処 理	121
そ の 他	342
合 計	2,157

平成20年10月1日から平成21年9月30日までの処理件数



当ボランティア協議会は、「本物の自然のふれあいが楽しめる、将来の資産づくりを市民総出で創造する」をテーマに活動しています。3月には植栽活動、6月と9月には下草刈りを行い、尺丈山の整備と管理を進め、さらには次の世代への引き継ぎにも力を注いでいる活動が評価されての受賞となりました。

10月4日、長崎県雲仙市の長崎県立百花台公園で、第33回全国育樹祭が行われ、美和地域の有志が中心となり活動している『尺丈山「百樹の森」森づくりボランティア協議会（岡山昭一会長）』が、全国育樹活動コンクールにおいて、農林水産大臣賞を受賞しました。この賞は、地域の育樹活動の普及、向上に著しい実績を上げた個人または団体へ授与されるものです。

尺丈山「百樹の森」森づくりボランティア協議会農林水産大臣賞受賞

知

市知ってニュース!

このコーナーでは、常陸大宮市のさまざまな出来事や話題を紹介します。皆さんからの身近な情報をお待ちしています。どうぞお気軽に情報をお寄せください。

★本庁企画課

☎ 52-1111 内線383

FAX 53-6010

✉ kikaku@city.hitachiomiya.lg.jp

塩田そばの学校のそば刈り

10月18日、塩田ふるさと協議会が参加者を募集し実施している「塩田そばの学校」のそば刈りが行われました。

県内外から約45人が参加し、地元農家の指導のもと、約10aの畑に大きく実った「常陸秋そば」の刈り取りを行いました。

また、そば刈り終了後は、さつま芋堀りが行なわれ、晴れわたる秋空の下で、塩田地区での1日を満喫することが出来ました。

刈り取られたそばは、畑脇に立てかけられ、これからじっくり天日乾燥されていきます。そうして出来上がったそば粉を利用し、11月にはそば打ち教室が行なわれます。



第2回ふるさと探検隊実施

地域の将来を担う子どもたちに、市内農村部の探検や農業用施設の見学、農作業体験等を通じて、地域への愛着や農村が有する大切な役割を学んでもらうことを目的に実施している「ふるさと探検隊」が10月17日に開催されました。

2回目となる今回は、農村環境を保全するために整備された、富岡地区と塩原地区の農業集落排水処理施設を見学し、農村地域における生活排水の処理方法について学びました。

また、前回種まきをしたそばの刈り取りや大根の収穫、そして、さつま芋堀りなどの農業体験を地元農家の指導により行いました。

今回刈り取ったそばは、次回計画されているそば打ち体験に使用することとなっています。



ことを思い浮かべながら、思い思いのメッセージを書き込み、ふれあいの森をあとにしました。

また、午後からは山方地域の紙のさと和紙資料館で「すき絵体験」を行ない、三太の湯でくつろぎ、常陸大宮市での一日を満喫しました。



力のもと行いました。参加者は、名前が刻まれた銘板に、苗木が大きく育つて花を見する

5年目を迎えた豊島区との地域間交流

10月24日、豊島区の森づくり隊ツアーが、おがわふれあいの森で実施されました。ツアーでは、初年度から続く桜の植樹を、緒川緑の少年団やグリーン緒川協議会の方々の協

クリーン作戦

10月25日、常陸大宮市クリーン作戦が、国道・県道・市道で各地区の環境保全推進委員長を中心に地域住民が参加し実施されました。

参加者10,796人は、小学生から高齢者までと幅広く、「地域全体でまちをきれいにしよう」という意識が高まっています。

参加者は、空き缶やペットボトル、紙くず、プラスチック容器などのごみを回収しました。

回収したごみは、可燃ごみ2,980kg、不燃ごみ2,920kg、その他粗大ごみでした。

参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。

これからも、一人ひとりがマナーを守り、きれいなまちづくりに取り組みましょう。



いっしょにまちづくり

「農村でサンマ!？」

茨城大学人文学部社会科学科3年

齋藤 詳子さん

塩田ふるさと協議会が行っている「田んぼのオーナー制度の稲刈り」にボランティアスタッフとして参加させていただきました。

私は豊島区民をはじめとした100人のオーナーの食事の準備を主に担当しました。塩田地区の方々と協働で準備した100人分のサンマはさすがに圧巻でした。

最初は農村でサンマ?と少し違和感を覚えたのですが、オーナーの方々がおいしい、おいしいと喜んで食べている姿を見ると嬉しく、またサンマが映し出す季節性が都市住民の方々が求める農村の魅力、つまり現在の「農村らしさ」なんだと農業経済学を専攻する私にとっては非常に勉強になりました。地域の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

※市と茨城大学とは相互に連携協力し「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。



教育委員さんが変わりました



任期満了により教育委員の瀧田正夫さん(檜山)と細谷篤正さん(野中町)が退任され、新たに10月20日付けで横山英生さん(小祝・写真左)と宮田慎さん(千田・写真右)が就任されました。

善意をありがとう

《常陸大宮市へ》

敬称略



浜ちゃんコンペ 金170,000円

くに おき 国長地区の風まつり

サナブリ、子安講、祇園、お愛宕さんなど、地区ごとや坪・組内、同姓などで、むかしから行ってきた祭りや行事はたくさんあります。しかし、昭和40年代から現在までの間に、多くが中止されたり、簡略化されたりして、子どもたちが待ち焦がれ、地域の人々が積極的に参加する行事は少なくなっています。また、当番のみで細々と続いてきた祭りについても、見直そうという地域も多いことでしょう。

8月23日に緒川地域国長地区で行なわれた「風まつり」もそのような祭りのひとつです。稲の収穫を前に、風除けをして豊作を祈願する大切な祭りです。しかし、当番の負担を減らすために、今回限りで止めることとなり、最後だけでもにぎやかにと、区長らが中心となつて、地域の人々や子どもたちに神社の参道に立てる灯籠の奉納を呼びかけ、公民館を使って灯籠作りの講習会も実施しました。しばらくの間、当番の



人数分しか奉納されなくなっていた灯籠が、参道入口から神社まで50余りも夕闇に浮かび上がりました。人々は、ロウソクのやわらかい光が灯る、頭を垂れた稲穂の中の参道をそぞろ歩き、子どもたちは元気な声を響かせました。



祭りの見直しには、「中止」と「地域の親睦を図り、子どもたちへふるさと文化を伝えるために改編して活用」の2通りがあります。地域の人々に好評だった国長の「風まつり」は、来年どのような見直しが行われるのでしょうか。

